

令和5年度 第1回島根県企業局経営計画評価委員会

日 時 令和5年8月28日(月)

14:00～16:00

場 所 ホテル白鳥 朱鷺の間

○委員長

今日は暑い中、また遠方から皆様ここに集っていただいて誠に御苦労さまでございます。皆様の企業局に対します意見や御要望等を今後業務運営に生かせるように円滑な議事進行に努めたいと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。そうしますと、早速ですが、次第に従いまして会議を進めさせていただきたいと思っております。

まず、議事の(1)、令和4年度各事業の実績について、議事(2)、令和4年度各事業会計決算の概要について、議事(3)、企業局経営計画令和4年度の取組状況について、事務局のほうから一括して説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局説明)

○委員長

ただいまの説明につきまして御意見、御質問等がございましたらお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員

詳細な説明をありがとうございます。ちょっとやっぱり収益のところに興味があるところなんですけれども、資料2の決算の概要のところ、営業収益は発電所ごとに、発電種目ごとに出ていますね、水力、風力、太陽光。営業指標のほうはこれ一括ということですよ。もしそれぞれのちょっと収益力というのか、コストパフォーマンスというところもちょっと興味あるので、もしそれぞれのところの営業費用のところと併せてのそれぞれの発電のコストパフォーマンスとかについて、もし調べておられれば、数字があればですがお願いしたいと思います。もしなければ、資料1の発電実績のほうと比べてみると、それぞれ水力、風力、太陽光、目標供給の実績値がありますけれども、発電の実績とその収益のほうを比較してみると、比率からいうと、絶対数が少ないですけども太陽光発電の収益の比率が高いような気がして、逆に風力発電はちょっと低いかなというような、比率的

にはそうなっていますので、そこら辺も比較して、各発電の収益力についても分析があればお聞かせいただければというふうに思います。

#### ○企業局

各発電事業ごとの収益と費用のほうをお答えいたします。水力発電事業のほうは営業収益が21億2,300万円で、営業費用のほうは17億7,600万円余ということになっております。それで、風力発電のほうは、営業収益が4億8,600万円余、営業費用のほうは7億2,900万円余となっております。続いて、太陽光発電ですが、営業収益のほうは2億8,800万円で、営業費用が2億4,600万円余ということになっております。

#### ○委員

ぱっと数字を言われても私もすぐ分析できないところではあるんですが、こういう数字を基に、もちろん水力発電については水の供給の観点とかもありますので、そこら辺も総合的に判断しなければいけないと思いますし、それからFIT買取り価格の変化もあると思いますので、恐らくその辺も考えて今後の取組状況も検討されてるのだと思いますけれども、それで、多分資料3にあるように今後の小水力発電所の検討だったり、あるいは⑧にあるようなFIT終了後の施設の在り方の検討ですね、特に風力発電所の今後の方向性の検討などがありますので、そういう辺も検討されてるというふうに考えてよろしいでしょうか。

#### ○企業局

おっしゃるとおりだと思っております。発電事業につきましては、水力、風力、太陽光、現在この3つをやっております。単に収益性の議論もありますけれども、やはりそれぞれに特性があるわけでございますね。資料2の下に1ページと振ってあるこちらのほうなんですが、下段のところでは発電種類別損益というのがございます。例えば風力。御覧いただきますと、特別利益が随分上がっておりますけれども、これはそれより以前に故障した案件についての共済金みたいなものでございます。何が言いたいかと申しますと、要は故障も多い、そういう性格があるわけなんですよね。ですから、取組の中でじゃあこの故障をいかに減らしていくかというような様々な取組も我々としてはやっていかなきゃいけませんし、一方で水力というのが比較的安定しているという中で、ほかにももう少し規模が小さくてもできることはないかとか、そういうところを考えてやっている次第でございます。簡単でございますけれども。

○委員

ありがとうございました。前も議論があったと思いますが、何か風力の場合は企業局さんの事業としては、やっぱりパイロット的な意味合いもあると、技術力を高めて今後波及効果も考えているということによろしいわけですね。

○企業局

ちょっとパイロット的という表現がどうか分からないですけど、島根県におきまして、様々な恵まれた自然エネルギーはどう使うかという視点で風力も取り組んでおります。今後どうしていくか、また検討を重ねていきたいというふうに思っております。

○委員

分かりました。ありがとうございます。

○委員長

続いて、ほかに御意見、質問等ありましたらよろしくお願ひします。ございませんでしょうか。よろしいですか。 そうしますと、時間の制約等もございませんで、次の議題に入らせていただきたいと思ひます。

続きまして、議事の（４）各事業の取組状況について事務局から順次説明のほどよろしくお願ひをいたします。

（事務局説明）

○委員長

ありがとうございました。そうしますと、盛りだくさんでございましたけども、先ほどの説明につきまして御意見、御質問がある方は挙手をお願ひします。いかがでしょうか。

○委員

御意見というような大層なものではないんですが、今、江津の工業団地の説明聞きました、ぜひ工業用水をたくさん使う企業に来てもらわんといけんというふうに強く思ったところですけど、そのとき御説明の中にうちの、江津市の職員が県に交流という形、ノウハウを学んだというのがあったんですけども、その職員も多分、再任用なんで伝えてほしいなと思ひますが。振り返って、企業局さんのほうでこういう事業を行うというか、技術職であるとか、事務職にしてもこの資料を見てこの資料からどういう状況か読み取れる職員というか、ああ、こういう状況なんだなというか。私、最初に自分は官庁会計

しか知らないのと申しあげましたけど、こういう企業会計というか、そういうところが分かる職員、それから技術職の職員、そういうものの伝承というか、伝えていくっていうようなことは、もう県の方は職員数が多分多くてらっしゃるので、ちゃんとしてるんだろうなと思うんですけども、その辺のところはいかがですか。江津市からしたらもう本当人材がなかなか育たないという悩みを抱えてるんですけど、その辺のところはいかがでしょう。

#### ○企業局

育成とかいうところですかねじゃあ、ちょっと概略的なところ、というところでお答えします。あと、一応、企業局におきましても、技術職といいますとまず最大がまず電気職、それ以外に工業団地とかの関係を作りますのは土木職、あと浄水場で水質検査とかをやってもら化学職の3種類の技術職がおります。電気職のほうは、企業局採用ですのであんまり企業会計のほうは基本的には大体オーケーだろうというところで思ってます。ただ、土木のほうは、実は企業会計でやってますのが企業局と、あと下水道が、御存じだと思いますが、人口3万人以上は令和2年からスタート。多分、江津市さんの場合は5年から多分、企業会計スタートということで今、準備しとられるとは思いますが、そういった形で土木については非常に今、企業会計の分かってやっていく職員というのは非常に少なく、下水道の導入も含めて現実のところはかなり苦労したのが現実です。ただ、すぐに全部、企業会計が分かってというところからではなくて、ある程度そういった通常業務、これは一般会計であっても企業会計であっても基本的に技術職としてやる仕事というのは変わりませんので、あと会計処理として企業会計になるというところで、その入れ替わりのところで企業会計の分かる職員のほう、事務屋さんになるんですけど、そうしたところに協力をしてもらいながら下水道なんかも導入、今回については、企業会計については、こちらでいうまた総務課系の分かる人に聞きながらやっていくというところで、何とか対応しとるというところの状況です。

#### 委員長

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

#### 委員

すみません、二、三、ちょっと分からないことをお伺いさせていただきます。

資料4の江津地域の工業団地の造成についてなんですけれども、説明の中で物流問題ということが出たように記憶しております。物流2024年問題がもう近づいてきておりま

して、この工業団地を造成するに当たって、その2024の物流問題について何か検討されたことをこの計画の中に入れてらっしゃるかな、ちょっとそこら辺、もしあればお伺いをしたいと思います。

それともう1点が広報・PRの関係なんですけれども、広報、要は皆さんに知っていただきたいという思いは非常に分かるんですが、知ってもらった後に何を会得をしたいと思いますのかというのがちょっと私、勉強不足でまだよく分かってないので、そこら辺を教えてくださいたいです。広報をすることで何を、知ってもらうことでそれを何に生かしていくのか、それを何につなげるのかというところがちょっと、もうちょっと説明をいただきたいと思いました。

それと、最後に、ちょっと遡ってしまって申し訳ないんですけれども、一番初めの4ページですね、中ほどから下、飯梨川水道とその下、斐伊川水道の給水能力、あと使用水量、料金収入とあります。飯梨川と斐伊川とを比較をして1立米当たりの料金収入が全然違ってらるんで、これ、なぜかというのをちょっと教えていただければと思います。年間の使用水量としては飯梨川のほうが水量は多いのに、料金収入がほぼ倍半分違ってらるのはなぜなのかなと、斐伊川のほうと比べてですね。そういうところをちょっと3点ほどお願いをいたします。

#### ○企業局

まず、工業団地、江津工業団地の造成に当たって、2024年問題についての関係のところでは検討議論されたかということだったと思いますけれども、物流は産業立地とか、あるいは企業の、個別企業の発展ということを考えたときに、非常に大きなファクター、要素になってくるというのは間違いのないと思っております。ただ、そうした中で、今回この3期造成をするに当たっては、24年問題を特には考慮したわけではありません。ただ申しましたように、様々な今、恵まれた諸条件がある中で、ここで道路が更に便利になると、これは大きな好機になるであろうということで第3期造成、着手した次第でございます。

一つ2点目に広報に関して質問を頂戴しました。広報するのはいいのだけれど知ってもらって何を期待するのか、何を求めるのかということでございます。これについては、私のほうから2つお答えしたいと思っております。

第1点としましては、私どものこれまで説明しております発電施設、浄水場、工業団地、その他、全てこれ県民の資産であるといえると思っております。この資産が、県民の皆様の福祉ですとか経済の発展に寄与しておるといふその理念、また自負を持ちながら業務に取り組

んでおります。今年度予算、昨年度も一昨年度もそうなんですけども、電気で上げた収益を一般会計に繰り入れたりとか、あるいは、国民スポーツ大会にかかる経費にもの電気の収益を充てていくということにしております。ですから、県民の資産であるこういった企業局の施設で上げた収益はこのように使われるということを知っていただくのは、重要なことかなということをおもっております。

もう一つ、知っていただきたい理由は、やはり職員、私ども職員一人一人、特に東部事務所、西部事務所で現場を管理している職員でございます。どうしても目立つときは事故があったとき、というような性格の仕事になりがちだと思っております。実は昨年度、Flood Lyricsにテーマソングを歌っていただいたのですが、タイトルは「誰かのヒーロー」でございます。なかなか気づかれない、気づかれないけども本当にみんなのために頑張っているのだという、そういう職員の姿勢をモチーフにした詞となっております。やや手前勝手なお答えになるかもしれませんが、やはりそういった現場でしっかり働いている職員、うちのお父さんこんなことしてるのだということ、そんな形でもぜひ御家族の方、地域の方に知っていただきたいというのも思いの一つでございます。

水道事業4ページの飯梨川水道と斐伊川水道の料金収入の差ということで御説明したいと思っております。水量は飯梨川のほうが斐伊川よりも多い反面、収入は倍半分、斐伊川のほうが多くなっています。料金収入は、かかった費用を水道料金で回収するというのが原則ですが料金収入の内訳として、当初建設した費用と、あともう一つ維持管理する費用と、大きく分けてその二種類の費用がかかります。これで見ますと飯梨川と斐伊川は維持管理費用は変わらないですが、逆に当初の建設費用というのが飯梨川については昭和44年ということと、あと斐伊川については平成23年ということと新しいということがありまして、飯梨川については当初建設部分をもうほとんど回収しているのです、この部分の差がこの料金収入の差ということで考えていただければいいと思っております。私からは以上です。

#### ○委員

ありがとうございました。分かってはいるんですけども、質問をさせていただきました。私、今年度、水道課のほうに配属をされてすごく思ったのが、今まで水や電気ってというのは本当に当たり前に使っていて、当たり前にあるもんだっていう頭でいたんです。それがやっぱりこういう職場に来て、水を1立米つくるのにこんなに大変、皆さんすごく職員、大変な思いをしてるんだっていうのを如実に感じておまして、すごくこういった地域の方々こういった会を開いて、何ていうんですか、壁をつくらずにこういったざっ

くばらんに話ができる会を設けられたというのはすごくいいことだと思うんです。すみません、ありがとうございました。

○委員長

ありがとうございました。続いて、御質問、御意見等ございますでしょうか。前半の議事の1から3の部分でも結構ですし、ここに載ってないことでも何かお気づきの点があればそれでも結構ですが。よろしいでしょうか。

○委員

一つ、広報・PR事業について御質問なんですけども、SNSの発信に力を入れてるってことだったんですけど、その成果指標、先ほど資料3-5のほうですかね、のほうを見ても、先ほどの説明にもフォロワーを増やす、何ていったらいいんでしょうかね、フォロワーを増やす具体的な指標っていうのがちょっと、どれだけ熱を入れて発信しているのかっていうのを客観的に見るためにも、フォロワーを何人増やすとかっていう目標を立てたらどうかなっていうふうに思ったんですけど、その辺りはどうお考えでしょうか。

○企業局

おっしゃるとおりだと思いますし、またそのためにどういう方策を取ったらいいか、特に若い方の御意見とか考え方も念頭に置くべきだと思っておりますので、これについても御助言いただけたらと思っております。よろしく願いいたします。

○委員

ありがとうございました。

○委員長

よろしいでしょうか。じゃあ、ほかに御質問、御意見ございませんでしょうか。

○委員

女性会のほうでも、これ、中電さんに関係したことなんですけれども、原子力発電所とかそういったところの見学っていうのは、全国的にもツアーというものを組んでいただいて女性会として出かけることがすごく多いんですね。それで、もちろん松江市の浄水場とかの見学も積極的にこう参加させていただいてるんですけども、そういった団体とか、例えば公民館単位での見学っていうのも中電さんなんかやとられるんですけども、そういったところへの働きかけというのはやっておられるのかなっていうのと、割と地元の、こちらの江津とかそういった地元と関係のある小学生とか、そういった方の見学はやとられるんですけど、なかなか松江とかちょっと近辺以外の周辺での市町村の見学っていう

のでできるのかどうかというところ。ちょっと私もこの前施設見学、ちょっと伺えなくてとても残念だったんですけども、そういったのを県下に広めて、いろんなところから募っていただくというお考えはどうなのかということをお聞きしたいと思っております。

#### ○企業局

ありがとうございます。広報・PR事業の資料7のところ、ございますけども、現状でもこちらにありますような施設見学、あと学校等へ出向いての出前講座、再生可能エネルギー見学ツアーですね、こういったことをやっております。再エネツアーは今年、何回かやっております。

はい、7月スタートで再開をしております。毎月定期的に。

毎月定期的にこれやるとということで。現状こういう形でやらせていただいております。また御意見を踏まえながら、どんな形でやるかということも検討はしてみたいと思っております。ありがとうございます。

#### ○委員

ありがとうございました。

#### ○委員長

よろしいでしょうか。大分時間が迫ってきましたが、あと、御意見、御質問ございませんでしょうか。

#### ○委員

ちょっと順番が前後して恐縮なんですけども、各事業の決算の件なんですけども、資料2の3ページ、項番4、宅地造成事業会計というのがあるんですが、ここの下の収益的収支で営業収益がざっと前年より5億減って、これが赤字の要因になってると思うんですが、その営業収益が減った理由として、あるいは4年の場合に江津の団地でほとんど土地を売ってないので収益がないと、これは分かりますね。宅地売却収益が1億8,200万円減とこれはよく分かるんですが、その下の資産減耗費戻入れが3億2,100万円の減ということになってるんですが、この資産減耗費戻入れということの意味が一般の人には分かりにくいと思うんですが、要するにこれは減損会計を使って手持ちの資産の時価評価が下がったということですか。

#### ○企業局

はい、そういうことです。期末、私どもで言いますと3月末日にそれを評価損として減損会計をします。洗替法と言いますけども、それをまた翌年には戻していくということをお



毎年繰り返しております。

○委員

その時価評価が下がった理由は何ですか。

○企業局

この江津工業地域拠点団地だけが下がっているわけではなくて、近隣の取引状況全体が下がっておるといところでございます。一方で、私どもの工業団地は数年前までは、江津工業団地は平米当たり1万2,000円で販売しておりましたが、これを2万円と、大幅に上げておりますけども、上げた後も分譲実績が上がっております。ですので、その時価評価というのがありますけども、一方で今の価格というのもそれで実質的には競争力のある価格だと考えております。

○委員

要するに、近傍類似の地価が下がってるんだけども、江津のところの団地の評価もそれに引っ張られて下がってるということですか。

○企業局

そう考えております。

○委員

ただ、今後の分譲価格が2万円ということですね。これまでが1万2,000円だったんですか。

○企業局

はい。数年前までは。

○委員

ということは、大体、江津辺りの地価っていうのが下がってるんですよ、今、西部全域が。しかしながら、ここの江津の団地については、インターができるとか、そういった立地上の条件がよくなるのでそれで上がるだろうと、そういう見通しで2万円という地価をつけられたということですか。

○企業局

そうですね、はい。2万円というのは事業費の回収という必要に迫られてという面もありますが、高速道路の整備は大きなインパクトとなりますので、これ非常に期待しておりますところでございます。

○委員

ありがとうございました。

○企業局

ありがとうございます。

○委員長

そうしますと、時間がもうかなり迫っておりますけども、せっかくですので一言、何か。

○委員

私の印象としては、非常に分かりやすい資料だったなど。説明もとてもそれに従った、とてもよかったなと思いました。それと、何かあってから直すのではなくて、何かある前に直していくということ、とてもいいことだなと思います。何か、うちの店でもですが、何かあってから対処するのではなくて、何かがある前に悪いところを直していったりするということはとても大事なことだなと思いました。

あとは、そうですね、全般的なこと悪いところは直していただいて、いいところを生かしていただくということをしていただければいいかなと思います。以上です。

○委員長

ありがとうございました。そうしますと、何か一言お願いできれば。

○委員

いつもなんですけども、別に意見っていう意見はほとんどなくて、ああと感心しながら勉強させていただいております。ちらっと頭に、本当に程度が悪い質問で申し訳ないんですけども、道中、風力発電の機械が回ってますよね、それが風があるのに、ああ、止まっている、もったいないって思うんですけども、どうしてでしょうという質問です。それ、以上です。失礼しました。

○委員

よろしいでしょうか。

○企業局

江津高野山風力発電所を通ったときに止まっているという状況ですね。2つ要因があり、一つは故障がやはり多いということで、風力発電所9基あるんです設置から法定耐用年数17年のところ14年ぐらいたってもう老朽化していることから故障が起きて、それによって止まっているのが今最近の状況です。故障すれば修理が必要ですが、海外から部品を調達しなければ直らないこともあるため、長期間停止しています。早く部品を調達し復旧できるような体制を整え対応したいと思っております。

太陽光も含めて不安定電源は、電気の需要に応じて一律止めてくださいっていう要請があって止めるっていうことがあります。特に春先とか電気の需要が少ない時期や土日に要請があるのも風車が止まる要因の一つです。

○委員

分かりました。

○委員長

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

そうしますと、そろそろ時間が参りましたので、本日の議事をこれで終了したいと思います。委員の皆様方には、議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。